

CP オール (CPALLn)

2019年は115-120億THBの設備投資を計画、2021年までにセブンイレブン13,000店舗を目指す

タイ | 食品・医薬品小売 | 業績フォロー

BLOOMBERG CPALL:TB | REUTERS CPALL.BK

- 2018/12期通期は、総収益が前期比7.9%増の5,278.59億THB、売上高が同8.0%増の5,085.52億THB、税引前利益が同7.0%増の251.51億THB、当期利益が同5.1%増の209.29億THBだった。
- コンビニエンスストアでの商品販売が伸びたほか、キャッシュ&キャリア事業が好調に推移。既存店売上高は同3.2%増となった。
- 2019/12通期は115-120億THBの設備投資を計画。約700店舗の出店を計画しており、2021年までにタイ国内の店舗数13,000店舗を目標としている。

What is the news ?

2/21発表の2018/12期通期は、総収益が前期比7.9%増の5,278.59億THB、売上高が同8.0%増の5,085.52億THB、税引前利益が同7.0%増の251.51億THB、当期利益が同5.1%増の209.29億THB。コンビニエンスストアでの商品販売が伸びたほか、「Siam Makro」ブランドのもと展開するキャッシュ&キャリア事業も好調だった。販売費・一般管理費は同9.0%増の1,001.95億THB。うち、販売費が同9.3%増の844.86億THBと嵩んだ。フランチャイズ形式での出店が加速したことによる店舗管理手数料や店舗網拡大や最低賃金の引き上げに伴う人件費の増加が響いた。子会社Siam Makroの業績は、売上高が同3.3%増の1,929.30億THB、当期利益が同3.8%減の59.42億THBと増収減益だった。4月にSiam Makroの保有株式の4.8%を売却したため、同社の持分比率は97.9%から93.1%へ低下した。

2018/12末時点のコンビニエンスストアの店舗数は10,988店舗と前期末比720店舗の純増となった。そのうち直営店舗が4,894店舗、FC店舗が5,336店舗、サブエリア・ライセンス店舗が758店舗。2018/12通期のコンビニエンスストアの既存店売上高は、同3.2%増であった。店舗あたり1日平均客数は前期比横ばいの1,185人、客単価は69THBと2017/12期の67THBから上昇した。店舗あたり平均日販は81,788THBと前期の79,786THBから増えた。製品ミックスは、非食品（家庭・パーソナル製品、タバコ）が売上構成比29.9%と前期の29.4%から上昇。食品（フードサービス・加工食品・飲料）は売上構成比70.1%と前期の70.6%から低下した。

How do we view this ?

同社は、2019/12通期で115-120億THBの設備投資を計画している。店舗網拡大に38-40億THB、既存店のリノベーションに24-25億THB、新規プロジェクト・子会社への投資に40-41億THB、固定資産・ITシステムへの投資に13-14億THB、それぞれ投じる計画だ。2019年は約700店の出店を計画しており、2021年までにタイ国内の店舗数13,000店舗を目標としている。2019/12通期市場予想は、売上高が前期比9.0%増の5,543.78億THB、当期利益が同11.3%増の232.95億THBである。

業績推移

※参考レート 1THB=3.49円

事業年度	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12F	2020/12F
売上高(百万THB)	434,711	471,069	508,552	554,378	600,601
当期利益(百万THB)	16,676	19,907	20,929	23,295	26,531
EPS(THB)	1.85	2.14	2.22	2.58	2.94
PER (倍)	40.81	35.28	34.01	29.26	25.68
BPS(THB)	6.14	8.39	9.44	10.67	12.14
PBR (倍)	12.30	9.00	8.00	7.08	6.22
配当(THB)	1.00	1.10	1.20	1.29	1.48
配当利回り (%)	1.32	1.46	1.59	1.71	1.96

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

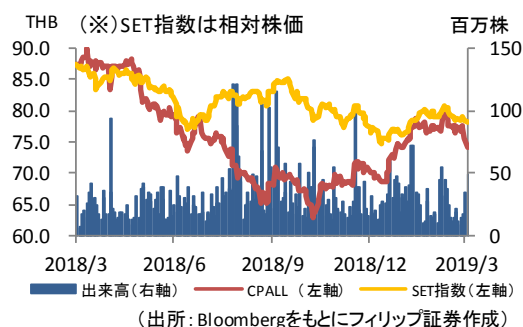
配当予想(THB)	1.29	(予想はBloomberg)
終値(THB)	75.50	2019/3/21

会社概要

1988年にタイ最大のコングロメイトであるチャロン・ポカパングループにより設立。タイ唯一のセブンイレブン運営事業者。1989年に米国のセブンイレブンからエリアライセンス契約を締結し、タイ初のセブンイレブン店舗がバンコクのパッポン通りにオープンした。2018年末時点で、全国10,988店舗展開。バンコク周辺には6,154店舗、地方には4,834店舗があり、PTTガソリンスタンド内などにも出店している。直営店舗が4,894店舗、フランチャイズ店舗が5,336店舗、サブエリア・ライセンス店舗が758店舗である。1日あたり平均来客数は1,170万人にのぼる。タイの人々のための便利な食品店であり続けるという戦略のもと、新鮮さや清潔さ、安全性を備えたRTE食品(レディトゥイートフード)の提供を重視している。

企業データ (2019/3/22)

ベータ値	0.81
時価総額(百万THB)	678,224
企業価値=EV(百万THB)	811,985
3か月平均売買代金(百万THB)	2,065.5



主要株主 (2019/3)	(%)
1. CP Merchandising Co Ltd	30.50
2. Stock Exchange of Thailand Co Ltd	9.21
3. ステート・ストリート	4.70

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

笹木 和弘

+81 3 3666 6980

kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>